

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 一般重要案件(3)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43795

沖縄帰郷者に対する失業保険金の給付計画

秘
無期限

北米局長
参事官
北米課長

沖縄帰郷者に対する失業保険金の
の給付計画について

41. 11. 4
米 電

1. 2日(水)午前、常任代表官の増田失業保険課長(金井課長同(米)、石村北米課長を来訪、櫻江の件について話し

進め。

本件については従来から琉球政府当局と非公式に交渉して

来り、大筋については合意に達しているが、2.3.の問題点が残っている。常任代表は、このまゝ沖縄の現地事情を承知

し、(米)大臣の指示もあって、取敢えず9月17日別添1.の表としてまとめた。これは当然 USCARの知るところとなつた

ので、琉球政府はこれを取敢えず取極率(別添2.)とUSCARに提出し、協議したところ、USCARは、本件給付計画に

ワシントン
重要案件
11.12

際には、まず琉球内部の法制を固めることが先決
問題であり、日本政府との取極は今のうちに済ませたい

旨指示した由である。併し、常任代表は、本件問題
案の2.3.残っている2の段階で、沖縄側で法制を固

められることは困るので、善処方を勧告したい。又、
USCARを刺激しないためにも、取極締結のICVP

案を琉球が取るべきであると考えている。尚、

よつて、当方の、沖縄の法制を固めるという2.は
失業保険制度全体の未整備から、まずこの方向を

めるといふ趣旨ではなかつたと思ふが、上述のとおり、本件に
ついては大使館に先んじて、米側の提案を(呈す)て

程度は、このまゝと答えておいた。



2. 同日午後、(世田の来訪、米大、ガハ、V、参事官、原田、
官同席) に対し、当方より、東洋に於て、日本政府に

(= 此は整理し、かかる場合は)

影響のあるような問題を琉球が決定するに取極
~~め、我々も承認し、その~~ ~~もの~~ ~~と~~ ~~考~~ ~~え~~ ~~る~~ ~~と~~ ~~す~~、
が先行すべき。

日
本
政
府
の
と
り
方

有る簡単な経緯(南) ~~が~~ ~~わ~~ ~~り~~、~~我~~ ~~々~~ ~~も~~ ~~琉~~ ~~球~~ ~~が~~ ~~ら~~ ~~の~~ ~~非~~ ~~公~~
式な情報に基き、~~ア~~ ~~フ~~ ~~ロ~~ ~~キ~~ ~~の~~ ~~て~~、
東洋の実情を承認
に過ぎない。

1. 地理の事情と ~~我~~ ~~々~~ ~~の~~ ~~承~~ ~~認~~ ~~の~~ ~~は~~ ~~有~~ ~~量~~ ~~の~~ ~~と~~ ~~述~~ ~~べ~~ ~~ら~~ ~~れ~~ ~~る~~
こと。先方はこれを了解し、調査の上、
次日連絡したい

と述べる。

①
②
③
④
⑤
⑥